

平成 28 年度 事 業 報 告 書

《事業報告及び事業報告の附属明細書》

社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会

本書の構成

平成 28 年度事業報告書は、本会定款第 40 条第 1 号及び第 2 号に規定する事業報告及び事業報告の附属明細書を原則、実施事業の取組項目ごとに併記して作成しています。

■ 概要

平成 28 年度事業計画における重点事業（取組項目）の概説と成果を記載しています。

■ 会議

平成 28 年度における理事会等の開催状況を記載しています。

■ 実施事業

平成 28 年度事業を「第 2 次地域福祉活動計画実施計画(平成 27 年度～平成 29 年度)」の取組項目に沿ってまとめています。

【 記載内容の表記 】

1 情報のキャッチボール



活動計画における施策

(1) 情報の発信



活動計画における基本事業

① 社協だよりの発行 【総務課】 (会費・共募) 2,023 千円 [1,905 千円] 2,205 千円



活動計画における取組項目 担当部署 財源 H28 決算 [H27 決算] H28 当初予算

(※) 財源の表記例 会費：社協会費
共募：共同募金配分金
市補：市補助金
V基：ボランティア基金

目 次

概 要	1
I 会 議	
1 理 事 会	3
2 評 議 員 会	4
3 基 盤 強 化 検 討 委 員 会	5
II 実 施 事 業	
1 法 人 の 基 盤 強 化	6
（ 1 ） 法 人 の 基 盤 強 化	6
2 情 報 の キ ャ ッ チ ボ ー ル	
（ 1 ） 情 報 の 発 信	6
（ 2 ） 情 報 の 収 集	7
3 福 祉 教 育 の 推 進	
（ 1 ） ボ ラ ン テ ィ ア 学 習 の 推 進	8
（ 2 ） 福 祉 教 育 の 支 援	9
4 小 地 域 福 祉 活 動 の 活 性 化	
（ 1 ） 地 区 部 会 活 動 の 支 援	1 1
（ 2 ） 地 区 部 会 活 動 推 進 の た め の 基 盤 整 備	1 7
（ 3 ） 各 種 団 体 ・ 関 係 機 関 と の 連 携 ・ 協 働	1 7
5 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動 の 促 進	
（ 1 ） ボ ラ ン テ ィ ア の 育 成	1 9
（ 2 ） 相 談 、 支 援 体 制 の 強 化 ・ 充 実	2 0
（ 3 ） 災 害 時 に お け る ボ ラ ン テ ィ ア 体 制 の 整 備	2 3
6 権 利 擁 護 の 充 実	
（ 1 ） 成 年 後 見 支 援 セ ン タ ー 機 能 の 充 実	2 4
7 在 宅 福 祉 サ ー ビ ス の 充 実 ・ 支 援	
（ 1 ） 在 宅 福 祉 機 器 の 貸 与	2 8
（ 2 ） 心 配 ご と 相 談 所 の 運 営	2 9

8	子育て支援	
(1)	放課後児童健全育成	3 1
(2)	交通遺児援護	3 2
(3)	心身障害児福祉の推進	3 2
(4)	保育士修学資金等貸付事業	3 2
(5)	ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業 ...	3 4
9	生活安定のための支援	
(1)	経済的な自立更生の支援	3 5
10	福祉施設や団体との連携・支援	
(1)	施設団体等助成	3 7
(2)	社会福祉事業振興資金貸付	3 7
(3)	各種団体・関係機関との連携・協働	3 8
11	人材育成のための研修の充実	
(1)	指定管理の研修・指定管理以外の研修	3 9
(2)	社会福祉士養成課程相談援助実習の実習生の受入れ ...	4 0
12	広報活動の充実	
(1)	社協のPR活動	4 1
13	体制の充実・強化	
(1)	会員の拡大	4 2
(2)	自主財源の確保	4 3
(3)	組織体制の充実・強化	4 3
14	災害への対応	
(1)	災害復興支援事業	4 5
(2)	熊本県（熊本市及び益城町）への支援活動	4 6
(3)	義援金、寄附金の受付等	4 6
	関連資料【組織図】	4 7

概 要

■ はじめに

少子高齢化の急速な進展、孤立や貧困の問題の深刻化や災害の増加を背景に福祉課題は複雑・多様化しています。

国では要介護状態となっても最後まで自分らしい暮らしを住み慣れた地域で続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムを提言しました。この仕組みの更なる強化を図る社会福祉法改正などにより、「我が事・丸ごとの地域づくり」の全面展開が計画されています。このほか、成年後見制度利用促進基本計画の策定、障害者総合支援法改正、生活困窮者自立支援の推進、社会福祉法人による地域公益活動の義務化や子ども子育て支援新制度等、制度や施策に大きな動きがありました。

このように、介護保険制度などの福祉サービスは充実してきましたが、制度によるサービスだけでは対応できない課題は顕在化し、地域におけるつながりが希薄化したことから、住民相互の支え合いやたすけあい機能は縮小傾向にあります。

一方、社会福祉法人制度改革に目を向けると社会福祉協議会を含めた社会福祉法人のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組を実施する責務等が求められるようになりました。

このようなことを踏まえ、平成 28 年度は、定款変更や理事会・評議員会の構成団体の見直しなど社会福祉法人としての体制整備を行うとともに、法人の継続性・安定性を確保するために、経営改善計画の見直しを行い、職員年齢の偏在、財務状況の硬直化、事業分野の偏り等の課題解決のための取組を整理し、新たに基盤強化方針を策定しました。

また、地域福祉活動計画に基づき、地区部会を中心として、ボランティア団体、社会福祉施設、町内自治会、企業、学校等さまざまな団体とのネットワークを活かし、買物支援事業や生活困窮者の自立促進など福祉課題・生活課題の解決に向けた支援や仕組みづくりに努めました。このほか、児童福祉法の改正により、利用対象児童を 3 年生までから段階的に 6 年生まで拡大する子どもルームでは、平成 28 年度は 5 年生まで受け入れ、利用児童数は平成 27 年度の 7,391 人から 9,766 人へと急激に増加していることから、スタッフの人材不足解消のために必要な措置を講じ、体制整備に努めています。新たな取組みとしては、保育士資格を目指す学生に対する修学資金貸付のほか、未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付、ひとり親の資格取得支援を目的とした貸付などを展開しました。

さらに、災害への対応として、平成 28 年 4 月 14 日に発生した熊本地震で被害があった益城町の社会福祉協議会へ本会職員を派遣し、災害ボランティアセンターの運営支援等を行いました。今後も、千葉市老人福祉施設協議会、千葉市民生委員児童委員協議会、千葉市赤十字奉仕団、千葉市ボランティア連絡協議会等福祉関係団体と連携強化を図り、社協らしさを踏まえた取組を推進していきます。

■ 平成 28 年度の重点事業（取組項目）

1 基盤強化方針の策定 P6

法人の継続性・安定性を確保するために、経営改善計画の見直しを行い、職員年齢の偏在、財務状況の硬直化、事業分野の偏り、社会福祉法改正等の課題解決のための取組みを整理し、新たに基盤強化方針を策定しました。

2 見守り活動の推進 P14

ひとり暮らし高齢者等に対して、日常的な見守りや声かけによる安否確認等、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりや活動を実施する地区部会に対して支援や助成を行うことにより、活動を実施する地域が 1 地区部会 4 町内自治会增加しましたが、目標の 8 地区増には至りませんでした。

3 地域支え合い活動の推進 P14

掃除や買い物などの生活行為の一部が困難な方等に対して、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりや活動の立ち上げが出来るよう、地区部会に対して支援や助成を行うことにより、活動を実施する地域が 4 地区部会增加しましたが、目標の 10 地区増には至りませんでした。

4 買物支援サービス事業の実施 P18

日常の買物に不便さを感じている独居高齢者等が多数存在する買物困難地域の課題解決を図るため、高齢者福祉施設、店舗、民生委員や地域住民等が連携し、買物支援サービス事業を新たに緑区大椎台自治会エリアで実施し、若葉区の 5 エリアと合わせ延べ利用人数 949 人、延べ実施回数 249 回の実績となりました。

5 ボランティア入門講座の開催 P19

小学生からシニアまで幅広い世代を対象にボランティア活動を始めるきっかけづくりとして、体験を含めた講座を 33 講座開催しました。

6 災害時における避難行動要支援者の避難支援等に伴う地域との連携 P23

地域の関係団体等と連携した避難訓練を予定していましたが、千葉県災害時受援計画（平成 28 年 3 月策定）の中で、本会は大規模災害発災後、災害ボランティアセンターを設置し、市災害対策本部と被害状況や被災者ニーズなどに関する情報収集・発信を連携して行うことが位置付けられ、本取組みを見直すこととなったため、実施には至りませんでした。避難行動要支援者名簿を基に要支援者の情報を地図上に落とし災害ボランティアセンターを設置・運営する際の資料とすることとしました。

7 法人後見の推進 P26

新たに 5 件を受任し、成年後見人等として延べ 23 人（年度末現在 22 人）に、成年後見人等に課される身上配慮義務に沿って財産管理及び身上監護を行いました。

8 千葉県生活困窮者自立促進支援事業 P36

生活困窮者自立支援法に基づく事業の一部を受託し、生活困窮者に対して自立に向けた支援計画作成等による支援を行いました。広報啓発や各種団体等への事業説明会を積極的に行ったこと、支援計画作成までの期間を短縮することにより、支援計画策定件数が 31 件増加しました。また、新規相談受付件数のうち支援計画作成件数の割合も、37.1% から、54.0% に増加しました。

I 会 議

1 理 事 会

第 1 回 平成 28 年 5 月 24 日（火）

議案第 1 号 平成 27 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算の報告について

議案第 2 号 平成 27 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告について

議案第 3 号 平成 27 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支決算について

議案第 4 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の辞任に伴う後任者の選任について

以上、原案通り可決しました。

報告第 1 号 第 2 次地域福祉活動実施計画（平成 27 年度～平成 29 年度）の報告について

第 2 回 平成 28 年 12 月 15 日（木）

議案第 5 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定款の変更

議案第 6 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員選任委員会規程の制定

議案第 7 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員選任委員会委員の選任

議案第 8 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員選出規程の一部改正

議案第 9 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員候補者案の承認

議案第 10 号 平成 28 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第 11 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会経理規程の一部改正

議案第 12 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正

以上、原案通り可決しました。

報告第 2 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の辞任

報告第 3 号 基盤強化方針の策定状況

報告第 4 号 高額寄付の受け入れ

報告第 5 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会給与規程の一部改正

第 3 回 平成 29 年 3 月 22 日（木）

議案第 13 号 平成 28 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第 14 号 平成 29 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画

議案第 15 号 平成 29 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算

議案第 16 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の策定

議案第 17 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員の選任

議案第 18 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会計監査人選定方法

議案第 19 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事務分掌規程の一部改正

議案第 20 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会役員等の報酬、期末手当及び費用弁

償並びに旅費に関する規程の一部改正

議案第 21 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会就業規程の一部改正

議案第 22 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会職員の給与に関する規程の一部改正

議案第 23 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会経理規程の一部改正

議案第 24 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会員規程等の一部改正

以上、原案通り可決しました。

報告第 6 号 定款変更に係る認可申請の結果報告

報告第 7 号 評議員選任委員会の結果

報告第 8 号 平成 28 年度資金収支補正予算のサービス区分等の修正

報告第 9 号 高額寄附の使途

2 評議員会

第 1 回 平成 28 年 5 月 24 日（火）

議案第 1 号 平成 27 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算の報告について

議案第 2 号 平成 27 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業報告について

議案第 3 号 平成 27 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支決算について

議案第 4 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事の辞任に伴う後任者の選任について

以上、原案通り可決しました。

報告第 1 号 第 2 次地域福祉活動実施計画（平成 27 年度～平成 29 年度）の報告について

第 2 回 平成 28 年 12 月 15 日（木）

議案第 5 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会定款の変更

議案第 6 号 平成 28 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第 7 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事の辞任に伴う後任者の選任

議案第 8 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会副会長の辞任に伴う後任者の選任

議案第 9 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会評議員再任依頼及び同意

以上、原案通り可決しました。

報告第 2 号 基盤強化方針の策定状況

第 3 回 平成 29 年 3 月 22 日（水）

議案第 10 号 平成 28 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支補正予算

議案第 11 号 平成 29 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会事業計画

議案第 12 号 平成 29 年度社会福祉法人千葉市社会福祉協議会資金収支予算

議案第 13 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会基盤強化方針の策定

議案第 14 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会理事の任期満了に伴う改選

議案第 15 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会会長及び副会長の選任

議案第 16 号 社会福祉法人千葉市社会福祉協議会監事の任期満了に伴う改選
以上、原案通り可決しました。

報告第 3 号 定款変更に係る認可申請の結果報告

報告第 4 号 平成 28 年度資金収支補正予算のサービス区分等の修正

報告第 5 号 高額寄附の使途

3 基盤強化検討委員会

第 2 回 平成 28 年 6 月 2 日（木）

- 議題 1 他指定都市社協との比較
- 議題 2 今後、社協の取り組むべき事項（行政との役割分担）
- 議題 3 社協事業の基本的執行方針について
（社協活動の見える化、区事務所のあり方）
- 議題 4 今後のスケジュールについて

第 3 回 平成 28 年 8 月 10 日（水）

- 議題 1 基盤強化方針策定の骨子について
- 議題 2 今後のスケジュールについて

第 4 回 平成 28 年 10 月 13 日（木）

- 議題 1 基盤強化方針案の概要について

第 5 回 平成 28 年 11 月 28 日（月）

- 議題 1 基盤強化方針案について

Ⅱ 実施事業

1 法人の基盤強化

本会で策定している計画の進捗状況、また社会経済情勢の変化や国の施策等の動向を踏まえ、法人の継続性・安定性を確保するために必要な対応を整理し、課題解決のための方針を策定しました。

(1) 法人の基盤強化【総務課】

① 基盤強化方針の策定【重点事業】《新規》

法人の継続性・安定性を確保するために、経営改善計画の見直しを行い、職員年齢の偏在、財政状況の硬直化、事業分野の偏り、社会福祉法の改正等の課題解決のための取組みを整理し、新たに方針を策定しました。

2 情報のキャッチボール

より多くの市民に対し、本会が中心となって実施する地域福祉活動を広く理解していただくために、必要な情報が届くよう、社協だよりの発行やホームページの充実、ボランティア活動情報の提供等を通じて情報の発信に取り組み、地域福祉への理解・参加の促進に努めました。

また、市民の意見を反映した地域福祉活動を推進するために、電子メールによる意見の収集やイベント等における参加者へのアンケートに取り組み、市民の声を収集していく仕組みづくりを実施しました。

(1) 情報の発信

① 社協だよりの発行【総務課】 (共募) 2,023 千円 [1,905 千円] 2,205 千円

社協活動の広報紙として、社協だよりを年 4 回、各 3 万 2 千部発行し、各町内自治会での回覧や公共施設などに配架し、多くの市民へ情報を提供しました。

H28			H27	H28目標値
巻数	発行日	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
第94号	平成28年 6月15日	各32,000部	年4回 各32,000部	年4回 各32,000部
第95号	平成28年 9月21日			
第96号	平成28年12月7日			
第97号	平成29年 3月15日			

② ホームページの充実【総務課他】 (共募) 55 千円 [826 千円] 113 千円

ホームページで、本会や地区部会、各種ボランティア団体等の活動状況を掲載するとともに、地域で必要とする福祉情報を発信しました。

＜アクセス数＞

区分	H28	H27
本会トップページ	48,585 件	16,533 件
ボランティアセンター	20,295 件	13,238 件
成年後見支援センター	10,112 件	3,535 件
社会福祉研修センター	8,043 件	5,231 件
生活自立・仕事相談センター	2,819 件	

③ 災害等緊急時の情報提供【地域福祉推進課】

ボランティアセンターのホームページに、東日本大震災の被災地や熊本県地震の被害（28 年 4 月）、鳥取県中部を震源とする地震の被害（28 年 10 月）等、被災地の災害ボランティアセンターのホームページのアドレスを掲載し、被災地のボランティア募集状況や被災地への物資の送付方法等の情報を発信しました。

④ 啓発ポスターなどの作成【地域福祉推進課】

（会費）293 千円 [374 千円] **441 千円**

市民に福祉への関心をもってもらうために、「福祉のまちづくり推進福祉体験標語・ポスター・作文コンクール」の受賞作品を啓発ポスター図柄として採用し、啓発活動に活用しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
ポスター	400 枚	400 枚	400 枚
クリアファイル	-	10,500 枚	10,500 枚

（２）情報の収集

① メールやアンケートによる意見収集【各部署】

市民の声を広く集め、地域福祉活動に反映させるため、メールによる意見の受付や、各種講座やイベント等において受講者及び参加者に対しアンケートを行いました。

3 福祉教育の推進

将来の地域福祉の担い手を育成するため、教育委員会等と連携し、学校における福祉教育が継続的、計画的に実施されるよう支援しました。

また、市民の福祉意識や自分の住む地域への関心を高め、主体的な福祉活動への参加につなげるため、地域や施設団体等と連携し、児童や生徒のみならず幅広い世代を対象に、実践や体験を通じた福祉教育の展開に取り組みました。

(1) ボランティア学習の推進【地域福祉推進課】

① ボランティア活動推進協力校等指定事業

(会費・市補) **2,108 千円** [2,108 千円] **2,108 千円**

千葉市教育委員会の協力を得て、市内の小学校からボランティア活動推進協力校等を指定し、学校が主体となって行うボランティア学習の取組みを支援しました。

ボランティア活動推進協力校 (15 校) ＜3 年間＞	H28 指定	仁戸名小、さつきが丘東小、おゆみ野南小、磯辺第三小、美浜打瀬小	H28 目標値 15 校
	H27 指定	院内小、長作小、轟町小、松ヶ丘小、若松台小	
	H26 指定	都小、千城台西小、高浜第一小、越智小、打瀬小	
ボランティア活動推進準協力校 (10 校) ＜2 年間＞	H28 指定	園生小、更科小、宮崎小、瑞穂小、真砂東小	H28 目標値 10 校
	H27 指定	寒川小、都賀小、こてはし台小、北貝塚小、高洲第四小	

② 福祉教育研究大会の開催

(市補・V基) **390 千円** [381 千円] **390 千円**

千葉市教育委員会の協力を得て、大椎中学校を平成 28 年度の福祉教育研究大会開催協力校として指定し、学校が主体となって行う福祉教育プログラムの開発の取組みを支援しました。

また、近隣の小・中学校の教員や地域住民に対しても参加を呼びかけ、同校の取組みの発表や参加者のボランティア体験学習の場として、平成 28 年 11 月 16 日に同校を会場として福祉教育研究大会を開催しました。

③ 高校生介護等体験特別事業

(市補) **100 千円** [100 千円] **100 千円**

千葉県立若松高等学校を平成 26 年度から平成 28 年度まで 3 年間の介護等体験協力校として指定しました。若松地区部会、本会若葉区事務所と共催で子育てサロンを開催(※)し、生徒と子育て中の親子がふれあう授業を実施したほか、認知症サポーター養成講座やボランティア入門講座などの実施や出張ボランティア講座の支援を行いました。

※ 平成 29 年度より高等学校家庭科用の教科書(東京書籍)に写真入りで紹介される予定です。

④ 福祉のまちづくり推進福祉体験標語・ポスター・作文コンクールの実施

【地域福祉推進課】（共募）637 千円 [576 千円] 630 千円

市内の小・中学校の児童・生徒を対象に、福祉やボランティアをテーマにした作品コンクールを開催し、学校における福祉教育の取組みを支援しました。

コンクールには市内小学校 29 校・中学校 8 校からの応募がありました。

＜応募学校数・応募点数＞

区分	H28	H27	H28 目標値
応募学校数	37 校	34 校	43 校
(内訳)	小学 29 校 中学 8 校	小学 20 校 中学 14 校	小学 25 校 中学 18 校
標語	789 点	386 点	810 点
ポスター	58 点	306 点	140 点
作文	57 点	49 点	290 点
合計	904 点	741 点	1,240 点

(2) 福祉教育の支援【地域福祉推進課】

① 福祉教育情報の提供

(市補・V基) 436 千円 [415 千円] 472 千円

市内の小・中・特別支援学校へ、効果的な福祉教育に資するための「福祉教育ニュース」を小学校に 8 部、中学校に 5 部ずつ配布しました。

市内の小学 4 年生から中学 3 年生を対象に福祉のこころを育むための「わたしもぼくもボランティア」を配付しました。

このほか、ボランティア活動推進協力校の取組みをまとめた事例集を作成し、市内の小・中学校に配付しました。

ア 福祉教育ニュース

H28			H27	H28 目標値
巻数	発行月	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
第50号	平成28年7月	各1,300部	年2回	年2回
第51号	平成29年2月		各1,300部	各1,300部

イ わたしもぼくもボランティア

H28		H27	H28 目標値
発行月	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
平成29年3月	51,000部	年1回 51,000部	年1回 51,000部

② 小学生向け福祉冊子の配布

(共募・会費) 1,612 千円 [2,916 千円] 1,500 千円

市内の小学 4 年生を対象とした福祉教材として、「超高齢社会」を支えていく子どもたちに「福祉」への関心を抱かせる福祉冊子『やさしい気持ち』を作成し、配布しました。

H28		H27	H28 目標値
発行月	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
平成28年5月	8,000部	-	年1回 8,000部

③ 教員向け福祉教育講座の開催 (市補・V基) 14 千円 [19 千円] 16 千円

市内の小・中・特別支援学校教員を対象に、学校で福祉教育を進める上で必要な福祉教育の目的・視点について整理し、ボランティア学習プログラム作成に資することを目的として、福祉教育講座を開催しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
講座数	1 講座	1 講座	1 講座
開催日数	1 日	1 日	1 日
受講者数	16 人	25 人	25 人

④ 福祉体験用具貸出 (市補・V基) 233 千円 [200 千円] 160 千円

市内の小・中・高等学校等が行う福祉教育を支援するため、福祉体験用具の貸出しを行いました。より多くの学校への貸出しができるようPRチラシを学校に配付し、福祉教育ニュースに案内を掲載しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
貸出校数	269 校	377 校	290 校
貸出用具数	2,818 個	3,616 個	-

⑤ 講師派遣 (ふれあいトーク) (V基) 37 千円 [-千円] 80 千円

市内の小・中・高等学校に障害のある方を講師として派遣し、学校による福祉教育のための支援を行いました。より多くの学校への派遣ができるようPRチラシを学校に配付し、福祉教育ニュースに案内を掲載しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
実施回数	9 回	12 回	18 回

⑥ 出張ボランティア・福祉体験講座の開催

市内の小・中・高等学校などからの依頼により職員を派遣し、ボランティアに関する講演や高齢者疑似体験、車椅子の体験指導を行いました。より多くの学校への派遣ができるようPRチラシを学校に配付し、福祉教育ニュースに案内を掲載しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
派遣回数	7 回	9 回	9 回

⑦ 地域でのボランティア体験の場・活動機会の提供

地区部会に小・中学校の児童・生徒の「ボランティア受入協力地区」としての協力を得て、地域における福祉教育への協力体制の構築を図るため、小・中学校を訪問し、地区部会との連携の働きかけを行いました。

区分	H28	H27	H28 目標値
実施地区部会	44 地区	40 地区	10 地区増

4 小地域福祉活動の活性化

小地域福祉活動を活性化する上で中心的な役割を担う地区部会が、より良い事業展開を継続的に実施できるよう企画提案や助成を行うなど、コミュニティソーシャルワーカー（以下「CSW」という。）が中心となり地区部会活動の支援に努めるとともに、担い手の確保・育成のため、福祉活動推進員等の知識や技術の向上を目的とした研修を実施し、地区部会活動の担い手育成に努めました。

また、介護保険制度の改正を踏まえ、地域支え合い活動に取り組む地区部会に対して助成を含めた支援を行うとともに、各種団体・関係機関と買物支援サービス事業の取り組みなど、地域の福祉課題を共有し、継続的に連携・協働に努めました。

（１）地区部会活動の支援【地域福祉推進課】

① 広報紙の発行 (会費・市補) **2,430 千円** [2,460 千円] **2,895 千円**

地域住民に対して地区部会活動への理解と担い手を確保・育成していくことを目的とした広報紙（地区部会だより）を発行する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H28	39 回 (16 地区)	28 回 (12 地区)	22 回 (11 地区)	41 回 (14 地区)	10 回 (4 地区)	22 回 (8 地区)	162 回 (65 地区)
H27	38 回 (15 地区)	29 回 (12 地区)	23 回 (11 地区)	41 回 (14 地区)	10 回 (4 地区)	23 回 (8 地区)	164 回 (64 地区)
H28 目標値	—	—	—	—	—	—	3 地区増

② ふれあい食事サービス事業の推進

(会費・共募・負担金・市補) **13,028 千円** [13,622 千円] **14,790 千円**

65 歳以上の独居高齢者を対象に心身の健康保持と社会参加を目的とし、定期実施型・行事実施型・施設利用型の 3 形態で行われる会食会や配食を実施する地区部会を支援しました。

	区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
定期実施型	H28	1,470 食 (2 地区)	296 食 (1 地区)	2,477 食 (6 地区)	154 食 (1 地区)	1,455 食 (3 地区)	2,221 食 (2 地区)	8,073 食 (15 地区)
	H27	1,400 食 (2 地区)	349 食 (1 地区)	2,342 食 (6 地区)	183 食 (1 地区)	1,510 食 (3 地区)	3,756 食 (5 地区)	9,540 食 (18 地区)
	H28 目標値	1,495 食 (2 地区)	380 食 (1 地区)	2,564 食 (6 地区)	220 食 (1 地区)	1,630 食 (3 地区)	4,349 食 (5 地区)	10,638 食 (18 地区)
行事実施型	H28	503 食 (5 地区)	1,219 食 (9 地区)	109 食 (2 地区)	252 食 (3 地区)	—	237 食 (2 地区)	2,320 食 (21 地区)
	H27	473 食 (5 地区)	1,274 食 (9 地区)	174 食 (2 地区)	252 食 (3 地区)	—	223 食 (2 地区)	2,396 食 (21 地区)
	H28 目標値	484 食 (5 地区)	1,452 食 (9 地区)	130 食 (2 地区)	225 食 (3 地区)	—	225 食 (2 地区)	2,516 食 (21 地区)
施設利用型	H28	—	1,164 食 (2 地区)	—	492 食 (1 地区)	—	1,851 食 (4 地区)	3,507 食 (7 地区)
	H27	—	1,267 食 (2 地区)	—	423 食 (1 地区)	—	550 食 (1 地区)	2,240 食 (4 地区)
	H28 目標値	—	1,270 食 (2 地区)	—	520 食 (1 地区)	—	720 食 (1 地区)	2,510 食 (4 地区)
合計	H28	1,973 食	2,679 食	2,586 食	898 食	1,455 食	4,309 食	13,900 食
	H27	1,873 食	2,890 食	2,516 食	858 食	1,510 食	4,529 食	14,176 食
	H28 目標値	1,979 食	3,102 食	2,694 食	965 食	1,630 食	5,294 食	15,664 食

③ ふれあい・いきいきサロンの推進

(会費・共募・市補) **5,244 千円** [4,850 千円] **6,065 千円**

地域の中に高齢者同士の語らいの場を設け、閉じこもり防止や寝たきり、認知症の予防を行うとともに、高齢者の仲間づくりを図ることを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H28	351 回 (13 地区)	1,224 回 (13 地区)	763 回 (11 地区)	337 回 (12 地区)	369 回 (4 地区)	452 回 (8 地区)	3,496 回 (61 地区)
H27	299 回 (13 地区)	1,187 回 (13 地区)	694 回 (11 地区)	304 回 (11 地区)	337 回 (4 地区)	412 回 (8 地区)	3,233 回 (60 地区)
H28 目標値	—	—	—	—	—	—	3 地区増

④ ふれあい・子育てサロンの推進

(会費・共募・市補) **1,038 千円** [1,040 千円] **1,245 千円**

子育て中の親子が自由に集い、地域ボランティアとともに交流を通して、仲間づくりを目的としたサロンを実施する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H28	208 回 (15 地区)	130 回 (9 地区)	128 回 (10 地区)	107 回 (9 地区)	48 回 (3 地区)	71 回 (6 地区)	692 回 (52 地区)
H27	212 回 (15 地区)	120 回 (9 地区)	142 回 (11 地区)	103 回 (7 地区)	45 回 (3 地区)	71 回 (6 地区)	693 回 (51 地区)
H28 目標値	—	—	—	—	—	—	5 地区増

⑤ ふれあい・散歩クラブの推進 (会費・共募・市補) **562 千円** [551 千円] **697 千円**

高齢者とボランティアによる散歩を通して、閉じこもりの防止や健康保持を目的とした活動を実施する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H28	74 回 (5 地区)	168 回 (6 地区)	133 回 (6 地区)	44 回 (6 地区)	61 回 (2 地区)	82 回 (3 地区)	562 回 (28 地区)
H27	76 回 (6 地区)	155 回 (6 地区)	139 回 (6 地区)	46 回 (5 地区)	52 回 (2 地区)	83 回 (3 地区)	551 回 (28 地区)
H28 目標値	—	—	—	—	—	—	4 地区増

⑥ 地区部会ボランティア講座の開催 (市補) **1,050 千円** [1,040 千円] **1,530 千円**

地区部会活動への理解と担い手を確保・育成していくためのボランティア講座を開催する地区部会を支援しました。

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H28	20 回 (10 地区)	19 回 (8 地区)	18 回 (8 地区)	25 回 (9 地区)	5 回 (2 地区)	18 回 (7 地区)	105 回 (44 地区)
H27	19 回 (10 地区)	16 回 (7 地区)	19 回 (10 地区)	29 回 (10 地区)	6 回 (3 地区)	15 回 (8 地区)	104 回 (48 地区)
H28 目標値	—	—	—	—	—	—	8 地区増

⑦ 地域福祉シンポジウムの開催 (市補) **451 千円** [—千円] **—千円**

これから地域に求められる「支え合い・助け合い」の仕組みづくり、その進め方等を紹介し、担い手として地域で活躍する人材の育成へ向けた意識の醸成を図ることを目的に開催しました。

開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
平成29年3月23日 (木)	180 人	地域福祉シンポジウム 「育てよう！地域での支え合い」	K T福祉研究所 所長 小倉 常明 氏 他、事例発表者 4 人
若葉文化ホール ホール			

⑧ 見守り活動の推進【重点事業】 (共募) **2,570 千円** [2,510 千円] **3,885 千円**

ひとり暮らし高齢者等に対して、日常的な見守りや声かけによる安否確認等により、安心して地域で暮らせるよう見守り活動の仕組みづくりを支援するとともに、活動を実施する地区部会（町内自治会）に助成しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
地区部会数 (町内自治会数)	29 地区 (279 町内自治会)	28 地区 (275 町内自治会)	8 地区増

⑨ 地域支え合い活動の推進【重点事業】

(共募・市補) **868 千円** [516 千円] **2,500 千円**

掃除や買い物などの生活行為の一部が困難な方等のために、安心して地域で暮らせるような仕組みづくりを各区事務所から地域の各種団体・機関へ働きかけるとともに、新たに活動を実施する 4 地区部会へ助成するとともに支援しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
地区部会数	4 地区	3 地区	10 地区増

⑩ 福祉活動推進員研修会の実施（共募・市補・会費）103 千円 [117 千円] 144 千円

地区部会活動の中心的な役割を担う福祉活動推進員を対象に、地域の福祉課題の発見・把握、課題解決につなげるための知識や情報を習得してもらうための研修会を年 4 回開催しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
開催数	4 回	4 回	4 回
参加者数	265 人	347 人	—

< 研修内容 >

回数	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
第 1 回	平成28年6月21日（火）	70 人	「地域包括ケアシステムと地域ケア会議について」	千葉市 地域包括ケア推進課 千葉市あんしん ケアセンター桜木 管理者 赤間 美恵子 氏 他、事例発表者 1 人
	千葉市ハーモニープラザ 多目的ホール			
第 2 回	平成28年8月24日（水）	65 人	「地区部会における 自主財源の確保策について」	K T 福祉研究所 代表 松藤 和生 氏 他、事例発表者 3 人
	千葉市ハーモニープラザ 多目的ホール			
第 3 回	平成28年10月11日（火）	67 人	「地域福祉の担い手 養成講座」	作新学院大学 教授 坪井 真 氏
	千葉県自治会館 大会議室			
第 4 回	平成28年12月13日（火）	63 人	「千葉市の介護予 防・日常生活総合事 業について」	千葉市 介護保険課 千葉市 高齢福祉課 他、事例発表者 2 人
	千葉市総合保健医療センター 大会議室			

※ 第 1・2・4 回 地区部会役員・実務者研修会と合同開催

第 3 回 県社協主催 平成 28 年度地域福祉の担い手養成講座と合同開催

⑪ ふれあい食事サービス事業研修会の実施

(市補・共募) 168 千円 [166 千円] 195 千円

ふれあい食事サービス事業ボランティアに対して、参加者に喜ばれる食事の調理や食中毒等の予防に関する調理実習と衛生講習の研修会を開催しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
開催数	2 回	2 回	2 回
参加者数	102 人	112 人	—

< 研修内容 >

区分	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
衛生講習	平成 28 年 6 月 2 日 (木)	46 人	「食中毒予防について」	千葉市保健所食品安全課
	千葉市ハーモニープラザ 社会福祉研修センター			
調理実習	平成 28 年 10 月 26 日 (水) ～28 日 (金)	56 人	調理実習 「高齢者向けお弁当」	千葉県栄養士会 理事 管理栄養士 井福 恵子 氏
	千葉市男女共同参画センター 調理実習室 A			

⑫ 地区部会役員・実務者研修会の実施

(共募・市補・会費) 52 千円 [45 千円] 59 千円

地区部会が継続的に地域の福祉課題に取り組めるよう、地区部会役員等を対象に、地域福祉活動に関する知識や実務に関する研修会を年 3 回開催しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
開催数	3 回	2 回	2 回
参加者数	198 人	127 人	—

< 研修内容 >

回数	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
第 1 回	平成 28 年 6 月 21 日 (火)	70 人	「地域包括ケアシステムと地域ケア会議について」	千葉市 地域包括ケア推進課
	千葉市ハーモニープラザ 多目的ホール			千葉市あんしん ケアセンター桜木 管理者 赤間 美恵子 氏 他、事例発表者 1 人
第 2 回	平成 28 年 8 月 24 日 (水)	65 人	「地区部会における自主財源の確保策について」	K T 福祉研究所 代表 松藤 和生 氏
	千葉市ハーモニープラザ 多目的ホール			他、事例発表者 3 人
第 3 回	平成 28 年 12 月 13 日 (火)	63 人	「千葉市の介護予防・日常生活総合事業について」	千葉市介護保険課 千葉市高齢福祉課
	千葉市総合保健医療センター 大会議室			他、事例発表者 2 人

※ 第 1～3 回 福祉活動推進員研修会と合同開催

(2) 地区部会活動推進のための基盤整備【地域福祉推進課】

① 地区部会設立の支援

(会費) 0 円 [0 円] **150 千円**

市内全域で住民主体による小地域福祉活動が展開できるよう、地区部会未設置区域の住民や団体等に対して地区部会設立のための働きかけを行いました。実現には至りませんでした。

区分	H28	H27	H28 目標値
地区部会数	67 地区	67 地区	1 地区増

<地区部会数>

区 名	地区部会数
中 央 区	16 地区
花見川区	13 地区
稲 毛 区	12 地区
若 葉 区	14 地区
緑 区	4 地区
美 浜 区	8 地区
合 計	67 地区

② 地区部会活動拠点確保の支援

継続的に地区部会活動を展開していくため、地域における社会資源を把握するとともに、行政、民間企業、社会福祉施設等へ地域福祉への理解を求め、活動拠点確保に向けた働きかけを行いました。活動拠点の確保に至りませんでした。

<拠点確保の状況>

平成 28 年度末現在、中央区松ヶ丘地区部会の「ひだまり」、花見川区花見川地区部会の「鷹の台自治会館」、若葉区結・みつわ台地区部会の「モノレールみつわ台駅」、加曽利地区部会の「桜が丘晴山苑」など市内 15 か所が地区部会の拠点となっております。

③ 地域福祉活動推進のための制度設計

地域福祉活動を推進していく上で、地域住民が地域の福祉課題を共有化し、効率的かつ効果的に課題解決に向けた取り組みができる仕組みづくりについて検討しました。

(3) 各種団体・関係機関との連携・協働【地域福祉推進課】

① 各種団体・関係機関との連携・協働

あんしんケアセンター等と地域福祉の推進について連携・協働するとともに、区支え合いのまち推進協議会と協力し、区支え合いのまち推進計画の推進に努めました。また、千葉県ことぶき大学福祉健康学科と連携し、地区部会が実施するサロン活動等への実習受入れの調整及び支援を行いました。

<ことぶき大学校 実習受入実績>

区分	地区部会数	受入人数
H28	31 地区	68 人
H27	26 地区	146 人

② 買物支援サービス事業の実施【重点事業】（共募）260 千円 [41 千円] **348 千円**

日常の買物に不便さを感じている独居高齢者等が多数存在する買物困難地域の課題解決を図るため、高齢者福祉施設、店舗、民生委員や地域住民等が連携し、買物支援事業の仕組みづくりを行い、若葉区大宮台エリアでの実施を継続するとともに、新たに緑区大椎台自治会エリアにおいて、平成 28 年 10 月より約 2 か月の試行実施を行い、平成 29 年 1 月より事業を開始しました。

ア 若葉区大宮台エリア

大宮台の 5 地区で週 1 回ずつ実施しています。

<利用状況>

区分	利用登録者数	延べ実施回数	延べ利用人数
H28	31 人	239 回	903 人
H27	26 人	256 回	885 人

イ 緑区大椎台自治会エリア

大椎町の一部で週 1 回実施しています。

<利用状況>

区分	利用登録者数	延べ実施回数	延べ利用人数
H28	8 人	10 回	46 人

③ 千葉市生活支援コーディネーター設置業務の実施【緑区事務所】

（受託金）4,724 千円 [1,127 円] **4,745 千円**

日常生活上の支援が必要な高齢者に対して多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、緑区における千葉市生活支援コーディネーター設置業務を平成 27 年度に引き続き千葉市より受託しました。支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図るため、平成 28 年度は、生活支援コーディネーターを 2 名配置し、地域の生活支援・介護予防サービスなど社会資源の把握、多職種との連携に努めました。

5 ボランティア活動の促進

多様なボランティアニーズに対応するためには、多くのボランティアを確保する必要があることから、ボランティア活動に興味・関心がある方へのきっかけづくりに取り組みました。

また、多様なボランティアに関する相談や支援のため、ボランティアの紹介・調整や各種講座の開催等に積極的に取り組み、相談・支援体制の強化・充実に努めました。

大規模災害時におけるボランティア活動への対応に早急に取り組む必要があることから、災害時のボランティアの確保・育成や調整機能の強化を図るとともに、平常時から関係団体とのネットワークづくりに取り組み、災害時における支援体制の整備に努めました。

(1) ボランティアの育成【地域福祉推進課】

① ボランティア活動のきっかけづくり

千葉市と協力して、区役所など市内 16 か所にペットボトルキャップ回収箱を設置し、市民の自主的なペットボトルキャップの収集・リサイクル活動の促進を図り、ボランティア活動への参加のきっかけづくりに努めました。

区分	H28	H27
収集重量	27,280 kg	28,733 kg
キャップ数	11,730,787 個	12,355,190 個
ポリオワクチン	10,953 人分	15,444 人分

② ボランティア入門講座の開催【重点事業】

(市補・V基) **892 千円** [868 千円] **984 千円**

小学生からシニアまで幅広い世代を対象にボランティア活動を始めるきっかけづくりとして体験を含めた入門講座を開催しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
講座数	33 講座	30 講座	33 講座
開催日数	50 日	41 日	48 日
受講者数	652 人	438 人	780 人

③ ボランティア養成講座の開催 (市補・V基) **566 千円** [524 千円] **613 千円**

入門講座修了者やボランティア活動実践者を対象に、様々な活動依頼に対応するため、必要な知識や技術のステップアップを図る講座を開催しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
講座数	12 講座	12 講座	12 講座
開催日数	29 日	28 日	30 日
受講者数	215 人	246 人	280 人

(2) 相談、支援体制の強化・充実【地域福祉推進課】

① ボランティア相談の受付 (市補・V基) 181 千円 [255 千円] **235 千円**

ボランティア活動をしたい市民や活動を実践している方が必要とする情報をパンフレット（ボランティア活動の手引き）、リーフレット（応援しますボランティア）、ホームページ等を用いて提供し、ボランティア活動の促進に努めました。

② ボランティアの紹介 (会費・市補・V基) 1,263 千円 [1,490 千円] **1,356 千円**

ボランティアを必要とする市民の相談に応じ、ボランティアの調整・紹介を行いました。

ボランティアを必要とする人とボランティアをしたい人を結びつけるための広報紙（ボランティアセンターのお知らせ）を年 8 回、各 1,500 部発行し、登録ボランティアに配付しました。

ア ボランティア登録状況

区分		H28 (※)	H27 (※)	H28 目標値
総登録者数		9,521 人	9,338 人	9,895 人
内訳	個人	3,816 人	3,829 人	4,075 人
	グループ	5,705 人 (195 グループ)	5,509 人 (188 グループ)	5,820 人 (203 グループ)

※ 年度末時点

イ ボランティア依頼件数、対応件数とコーディネート件数

(件)

依頼者			H28			H27			主な依頼内容
			依頼	対応	コーディネート	依頼	対応	コーディネート	
単発的なニーズ	個人ニーズ	①障害児	3	3	2	2	2	2	外出支援、託児
		②障害者	5	5	4	3	3	3	外出支援、話し相手
		③高齢者	12	12	12	12	12	12	家事援助、余暇支援
		④児童	0	0	0	1	1	1	
		⑤その他	2	2	2	9	9	8	学習支援、見守り
		小計	22	22	20	27	27	26	
	団体ニーズ	①障害児施設等	7	7	7	22	21	18	イベント支援、託児、演奏活動
		②障害者施設等	22	22	20	25	24	22	イベント支援、演奏活動等
		③高齢者施設等	37	37	33	29	28	24	イベント支援、演奏活動等
		④児童施設等	4	4	4	4	3	2	イベント支援、託児
		⑤その他	28	28	26	29	29	28	イベント支援、託児、行政主催事業の際の保育等
		小計	98	98	90	109	105	94	
	単発計		120	120	110	136	132	120	
定期的なニーズ	個人ニーズ	①障害児	7	7	5	4	4	4	外出支援、学習支援等
		②障害者	16	16	7	29	29	12	外出支援、話し相手、見守り等
		③高齢者	17	17	12	16	16	12	話し相手、余暇支援等
		④児童	1	1	1	2	2	1	託児
		⑤その他	4	4	4	3	3	3	買物支援、外出支援
		小計	45	45	29	54	54	32	
	団体ニーズ	①障害児施設等	13	13	2	8	8	5	学習・余暇活動の支援等
		②障害者施設等	74	73	35	72	72	28	作業補助、余暇活動支援等
		③高齢者施設等	235	235	129	216	216	126	話し相手、余暇活動支援等
		④児童施設等	6	6	4	4	4	4	遊び相手、託児
		⑤その他	6	6	4	14	14	12	病院での案内、運動指導補助等
		小計	334	333	174	314	314	175	
	定期計		379	378	203	368	368	207	
合計		499	498	313	504	500	327		
			コーディネート率 62.7%			コーディネート率 64.8%			

③ 社会福祉施設等のボランティア担当者のための支援

(市補・V基) **28 千円** [42 千円] **28 千円**

ボランティアと受け入れ施設側の双方がより良い関係を築けるよう支援するため、社会福祉施設のボランティア担当者を対象に、ボランティアを受け入れる基礎知識や活動プログラム作成等の研修を実施しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
講座数	1 講座	1 講座	1 講座
開催日数	1 日	1 日	1 日
受講者数	15 人	26 人	25 人

④ 企業の社会貢献活動への相談・支援

企業からの社会貢献の相談に応じ、情報の提供を行いました。

⑤ ボランティア基金事業

(V基) **2,037 千円** [1,904 千円] **2,274 千円**

ボランティア基金より、ボランティアグループへの助成を行いました。また、ボランティア活動を促進するための資金確保として、使用済み切手等を収集し、ボランティアの協力のもと仕分け作業を行い、売却収入をボランティア基金に積み立てました。

ア ボランティアグループへの助成

区分	H28	H27	H28 目標値
グループ数	103 グループ	95 グループ	113 グループ
事業数	128 事業	119 事業	113 事業
助 成 金 額	2,005,818 円	1,848,000 円	2,260,000 円

イ 使用済み切手等の収集量及び売却金額

区分	H28		H27	
	収集量	売却金額	収集量	売却金額
使用済み切手	179.2 kg	71,940 円	113.1 kg	33,930 円
使用済みプリペイドカード	25,850 枚	3,882 円	25,950 枚	1,282 円
合 計		75,822 円		35,212 円

(3) 災害時におけるボランティア体制の整備【地域福祉推進課】

① 災害ボランティア講座の開催 (共募) 44 千円 [51 千円] 52 千円

千葉市で大規模な自然災害が発生した際に立ち上げる災害ボランティアセンターの運営を担うボランティアを養成する「災害ボランティアセンター運営ボランティア講座」を開催しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
講座数	2 講座	2 講座	2 講座
開催日数	4 日	各 3 日	各 2 日
受講者数	『基礎』 花見川区 (3 日) 30 人 『フォローアップ』 中央区 (1 日) 32 人	中央区 (3 日) 18 人 稲毛区 (3 日) 15 人	各 30 人

② 災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

(共募) 658 千円 [1,207 千円] 686 千円

千葉市ハーモニープラザを災害ボランティアセンターと想定し、本会職員と災害ボランティアセンター運営ボランティアの協働による設置運営訓練を実施しました。

区分	H28	H27
実施日	平成 29 年 2 月 26 日 (日)	平成 28 年 2 月 28 日 (日)

③ 災害時における避難行動要支援者の避難支援等に伴う地域との連携【重点事業】

千葉市災害時受援計画（平成 28 年 3 月策定）の中で、本会は大規模災害発災後、災害ボランティアセンターを設置し、市災害対策本部と被害状況や被災者ニーズなどに関する情報収集・発信を連携して行うことが位置付けられ、本取組みを見直すこととなったため、実施には至りませんでした。避難行動要支援者名簿を基に要支援者の情報を地図上に落とし災害ボランティアセンターを設置・運営する際の資料とすることとしました。

6 権利擁護の充実

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及・啓発を図り、支援を必要とする市民の利用に結びつくよう理解の促進に努めるとともに、成年後見人等、若しくは日常生活自立支援事業によって、認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等へ市民との協働によって支援を行いました。

また、市民後見活動が更に広がるよう養成や育成を行うとともに、市民後見人へ活動支援を行いました。

(1) 成年後見支援センター機能の充実【千葉市成年後見支援センター】

① 成年後見制度等の周知 (受託金) 415 千円 [384 千円] 708 千円

成年後見制度や日常生活自立支援事業の普及・啓発を図るため、市民向けの講習会を3回(目標回数:2回)開催したほか、市民の依頼に応じて出前講座21件(目標件数:15件)を行いました。また、市内の町内自治会でチラシの回覧を行いました。

<講習会の実施>

開催日時	開催場所	参加者数	講習内容
平成28年10月4日(火) 午後2時00分～午後3時00分	イオンゆみーる鎌取 ショッピングセンター	20 人	成年後見制度と日常生活 自立支援事業について
平成28年11月26日(土) 午前10時00分～午後3時00分	千葉市社会福祉 研修センター	23 人	成年後見制度について
平成29年3月12日(日) 午後1時00分～午後4時05分	千葉市生涯学習 センター	196 人	成年後見制度について

② 成年後見制度に関する相談・対応 (受託金) 646 千円 [619 千円] 646 千円

成年後見制度の利用や家庭裁判所への申立て手続きに関する相談などに対応しました。また、弁護士による法律相談を実施しました。

<相談件数>

区分	H28	H27	H28 目標値
一 般 相 談	781 件	720 件	780 件
法 律 相 談	22 件	16 件	20 件
合 計	803 件	736 件	800 件

③ 日常生活自立支援事業 （利用料・市補） **28,119 千円** [30,601 千円] **31,624 千円**

認知症や知的障害、精神障害などのために判断能力に不安を抱える方が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう、延べ 221 人（年度末現在 174 人）に福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理に関する助言や手続き代行等の援助をしました。

< 契約状況 >

区分	H28	H27	H28 目標値
認知症高齢者等	103 件	84 件	176 件 (年度末)
(新規契約件数)	(54 件)	(55 件)	
(解約・終了件数)	(35 件)	(22 件)	
知的障害者	11 件	7 件	
(新規契約件数)	(6 件)	(4 件)	
(解約・終了件数)	(2 件)	(2 件)	
精神障害者	37 件	25 件	
(新規契約件数)	(17 件)	(14 件)	
(解約・終了件数)	(5 件)	(0 件)	
その他	23 件	17 件	
(新規契約件数)	(11 件)	(4 件)	
(解約・終了件数)	(5 件)	(0 件)	
合 計	174 件	133 件	
(新規契約件数)	(88 件)	(77 件)	
(解約・終了件数)	(47 件)	(24 件)	

④ 権利擁護事業の支援体制整備

権利擁護事業に関する各区事務所の初期相談機能を強化するための職員研修を行い、支援体制の強化を図りました。

⑤ 関係機関との連携強化

あんしんケアセンターや相談支援事業所などの関係機関や弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門職との情報交換を通じて権利擁護の連携強化を図りました

⑥ 市民後見人の養成 (受託金) **380 千円** [372 千円] **758 千円**

市民後見人を養成するための研修を行い、研修修了者を後見人等候補者として登録するとともに、更なるスキルアップの機会を設けました。

ア 研修会の開催

区分	H28		H27	
	開催日数	受講者数	開催日数	受講者数
市民後見人養成研修（基礎編）	7 日	19 人	7 日	18 人
市民後見人養成研修（応用編）	2 日	16 人	2 日	19 人
市民後見人養成研修（実務編）	16 日	16 人	8 日	19 人
市民後見人フォローアップ研修	2 日	84 人	2 日	110 人

イ 市民後見人の登録状況

区分	H28	H27	H28 目標値
市民後見人登録者	80 人	71 人	85 人
更新	61 人	59 人	
新規	19 人	12 人	

⑦ 法人後見の推進【重点事業】 (後見報酬等) **5,188 千円** [5,341 千円] **6,429 千円**

法人として新たに 5 件の成年後見人を受任し、成年後見人等として延べ 23 人（年度末現在 22 人）に、成年後見人等に課される身上配慮義務に沿って財産管理及び身上監護を行いました。

業務の実施にあたっては、本会に登録した 80 人の市民後見人候補者から法人後見支援員として 19 人を雇用して対応しました。

<受任状況>

区分		H28		H27			H28 目標値	
		類型		類型				
		後見	保佐		後見	保佐		
認知症高齢者等		9 件	8 件	1 件	7 件	5 件	2 件	20 件 (年度末)
	(新規受任件数)	(3 件)	(3 件)	(0 件)	(2 件)	(2 件)	(0 件)	
	(終了件数)	(1 件)	(0 件)	(1 件)	(5 件)	(4 件)	(1 件)	
知的障害者		11 件	10 件	1 件	9 件	8 件	1 件	
	(新規受任件数)	(2 件)	(2 件)	(0 件)	(2 件)	(2 件)	(0 件)	
	(終了件数)	(0 件)	(0 件)	(0 件)	(0 件)	(0 件)	(0 件)	
精神障害者		2 件	1 件	1 件	2 件	1 件	1 件	
	(新規受任件数)	(0 件)	(0 件)	(0 件)	(1 件)	(1 件)	(0 件)	
	(終了件数)	(0 件)	(0 件)	(0 件)	(0 件)	(0 件)	(0 件)	
合 計		22 件	19 件	3 件	18 件	14 件	4 件	
	(新規受任件数)	(5 件)	(5 件)	(0 件)	(5 件)	(5 件)	(0 件)	
	(終了件数)	(1 件)	(0 件)	(1 件)	(5 件)	(4 件)	(1 件)	

⑧ 市民後見人の選任

市民後見人養成研修修了者が家庭裁判所から市民後見人として選任されるよう関係機関との連携に努めました。

＜市民後見人選任数＞

区分	H28	H27	H28 目標値
新規選任数	6 件	1 件	3 件

7 在宅福祉サービスの充実・支援

福祉機器を短期的に必要とする方に無償で貸し出し、利用者や介助者の経済的負担を軽減するとともに、生活上のさまざまな相談に対し相談員による助言を行うことにより、市民が在宅で安心して生活できるよう支援しました。

(1) 在宅福祉機器の貸与

① 車椅子貸与事業【社会福祉課】 (市補・会費) **234 千円** [253 千円] **272 千円**

短期間車椅子が必要な方へ2か月(最長6か月)を限度として、無償で貸し出し、利用者や介助者の経済的負担を軽減しました。

区分	H28		H27		H28 目標値
	保有台数	貸出件数	保有台数	貸出件数	
中 央 区	14 台	53 件	14 台	54 件	年間貸出 件数 530 件
花 見 川 区	26 台	90 件	23 台	81 件	
稲 毛 区	28 台	81 件	25 台	97 件	
若 葉 区	29 台	95 件	29 台	99 件	
緑 区	18 台	52 件	12 台	78 件	
美 浜 区	35 台	131 件	33 台	139 件	
合 計	150 台	502 件	136 台	548 件	

(2) 心配ごと相談所の運営

① 相談業務の実施【社会福祉課】(市補・共募) 1,377 千円 [1,364 千円] 1,492 千円

市民の生活上のさまざまな悩み事相談に、経験豊かな相談員が面談、電話で応じて問題解決を図るとともに、相談者の悩みの解消に努めました。

また、法律問題を伴う相談に応じるため、弁護士による法律相談を行いました。

開所日数	(開所時間: 月～金曜日(祝日・年末年始を除く) 10:00～15:00) 【常設相談 243 日、法律相談 9 日】		
相談員	民生委員・児童委員、有識者 計 14 人		
取扱件数	1,207 件 【常設相談 1,186 件、法律相談 21 件】		
	相談内容	H28	H27
	家族	245 件	282 件
	生計	54 件	69 件
	財産	72 件	70 件
	離婚	18 件	57 件
	住宅	48 件	38 件
	苦情	28 件	72 件
	医療	57 件	73 件
	精神保健	241 件	313 件
	職業・生業	23 件	32 件
	老人福祉	32 件	24 件
	健康・衛生	35 件	51 件
	結婚	1 件	8 件
	教育・青少年	19 件	26 件
	心身障害者(児)福祉	11 件	9 件
	年金	20 件	19 件
	事故	4 件	4 件
	人権・法律	87 件	68 件
	母子福祉・父子福祉	0 件	6 件
	児童福祉・母子保健	8 件	5 件
	その他	204 件	169 件
	合計	1,207 件	1,395 件
相談利用者数	(男: 94 人/女: 429 人) 【常設相談: 502 人、法律相談: 21 人】		
相談内容 処理状況	取扱件数 1,207 件に対し、解決 1,055 件、再来 32 件、民生委員紹介 0 件、 他機関紹介 117 件、その他 3 件		

② 相談員の研修の実施【社会福祉課】 (共募) 43 千円 [40 千円] 85 千円

相談員が、変化する社会情勢に対応した適切な助言ができるよう、相談員の資質と相談技術の向上のための研修を実施しました。

回数	開催日/会場	参加者数	研修内容	講師
第 1 回	平成 28 年 8 月 10 日(水)	13 人	ひきこもりの支援にむけて～千葉県なの花会の活動～	KHJ 千葉県なの花会 理事長 藤江幹子氏
	千葉県ハーモニープラザ			
第 2 回	平成 28 年 12 月 15 日(木)	13 人	「心配ごと相談所の相談員として」	長谷川喜美子氏 (前 心配ごと相談員)
	千葉県ハーモニープラザ			
第 3 回	平成 29 年 3 月 9 日(木)	12 人	身近な法律問題について(法律相談事例)	法律相談 弁護士
	千葉県ハーモニープラザ			

8 子育て支援

子育て家庭への支援として、千葉市の放課後児童健全育成事業を受託し、子どもルームの運営を実施しました。

また、自主事業として、交通遺児、在宅重度心身障害児へ慰問金等を支給しました。

その他、保育士人材の確保等を目的とした貸付事業を新たに実施しました。

(1) 放課後児童健全育成【社会福祉課】

① 放課後児童健全育成事業

(受託金) **2,086,253 千円** [2,037,260 千円] **2,292,315 千円**

就労等により昼間家庭にいない保護者の小学校児童に対して、授業終了後の遊びと生活の場を提供し、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の子育てを支援する事業を千葉市から受託し、実施しました。

ア ルーム数及び利用児童数 ※ () 内は高学年ルーム及び高学年児童の内数

区分	H28 末		H27 末	
	ルームか所数	利用児童数	ルームか所数	利用児童数
中 央 区	31 か所 (7)	1,936 人 (280)	30 か所 (6)	1,465 人 (107)
花見川区	28 か所 (4)	1,605 人 (160)	26 か所 (2)	1,189 人 (21)
稲 毛 区	24 か所 (5)	1,590 人 (200)	25 か所 (6)	1,241 人 (58)
若 葉 区	20 か所 (2)	1,059 人 (80)	20 か所 (2)	783 人 (18)
緑 区	27 か所 (8)	1,610 人 (320)	23 か所 (4)	1,159 人 (64)
美 浜 区	30 か所 (8)	1,966 人 (252)	27 か所 (5)	1,554 人 (95)
合 計	160 か所 (34)	9,766 人 (1,292)	151 か所 (25)	7,391 人 (363)

イ 利用日・利用時間

区分	基本時間
通 常 授 業 日 (月曜日～金曜日)	午後 1 時 00 分～午後 6 時 00 分
土 曜 日	午前 8 時 30 分～午後 4 時 30 分
短 縮 授 業 日	午前 11 時 30 分～午後 6 時 00 分
学校行事等振替休業日	午前 8 時 00 分～午後 6 時 00 分
春・夏・秋・冬休み期間 (月曜日～金曜日)	午前 8 時 00 分～午後 6 時 00 分

※ 延長時間 午後 6 時 00 分～午後 7 時 00 分 (平日のみ)

(2) 交通遺児援護【社会福祉課】

① 交通遺児援護事業 (交通遺児援護基金) 157 千円 [96 千円] 312 千円

小・中学校在学の交通遺児に対して入学祝い金 10,000 円や歳末慰問金 5,000 円を、お祝いのことばを添え、担当民生委員・児童委員を通じて支給しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
入学祝い金	6 人	2 人	10 人
歳末慰問金	19 人	15 人	36 人

(3) 心身障害児福祉の推進【社会福祉課】

① 心身障害児福祉事業 (共募) 2,122 千円 [2,076 千円] 2,294 千円

小学 1 年生から中学 3 年生までの特別児童扶養手当を受給している心身障害児の養育者に対して、歳末慰問金 4,000 円を担当民生委員・児童委員を通じて支給しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
歳末慰問金	510 人	502 人	550 人

(4) 保育士修学資金等貸付事業【総務課】

(市補) 16,756 千円 [-] 318,837 千円

※平成 29 年 1 月事業開始

① 保育士修学資金貸付事業

質の高い保育士の養成確保に資することを目的として、指定保育士養成施設に在学し保育士資格を目指す学生に対し、修学に必要な資金の貸付を行いました。

区 分	H28		H27	
	貸付件数	当期貸付金額	貸付件数	当期貸付金額
保育士修学資金	8 件	2,641,840 円	—	—
入学準備金加算	6 件	1,200,000 円	—	—
入学準備金加算 (市単独加算)	6 件	600,000 円	—	—
就職準備金加算	1 件	200,000 円	—	—
生活扶助加算	1 件	482,280 円	—	—
貸付金合計	—	5,124,120 円	—	—

② 保育補助者雇上費貸付事業

保育所等における保育士の負担を軽減し、保育士の離職防止を図ることを目的として、保育士の雇用管理改善や労働環境改善に積極的に取り組んでいる保育事業者に対し、保育士資格を持たない保育補助者の雇い上げに必要な費用の貸付を行いました。

区 分	H28		H27	
	貸付件数	当期貸付金額	貸付件数	当期貸付金額
保育補助者 雇上費貸付	1 件	1,421,000 円	—	—

③ 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業

未就学児を持つ潜在保育士が、保育士として保育所等への勤務を希望する場合、当該保育士が支払うべき保育料の一部について貸付を行いました。

区 分	H28		H27	
	貸付件数	当期貸付金額	貸付件数	当期貸付金額
保育料の 一部貸付	21 件	4,523,593 円	—	—

④ 就職準備金貸付事業

潜在保育士が保育士として保育所等に勤務することが決定した場合、就職準備金の貸付を行いました。

区 分	H28		H27	
	貸付件数	当期貸付金額	貸付件数	当期貸付金額
就職準備金 貸付	9 件	3,000,000 円	—	—

(5) ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【総務課】

(市補) 1,921 千円 [ー] 25,253 千円

※平成 29 年 1 月事業開始

ひとり親の資格取得支援を目的として、高等職業訓練に係る費用（入学準備金・就職準備金）の貸付を行いました。

区 分	H28		H27	
	貸付件数	当期貸付金額	貸付件数	当期貸付金額
入学準備金	3 件	1,500,000 円	ー	ー
就職準備金	1 件	190,000 円	ー	ー
貸付金合計	ー	1,690,000 円	ー	ー

9 生活安定のための支援

生活保護人員や世帯の増加傾向を踏まえ、包括的かつ継続的な相談支援や地域における自立支援が行うことのできるサービス提供主体の発掘等による生活困窮者支援の仕組みづくりを行いました。また、新たな総合相談の推進と関係機関・組織の横断的な連携を図りました。

(1) 経済的な自立更生の支援

① 生活福祉資金貸付事業【千葉市成年後見支援センター】

(受託金) **21,289 千円** [21,761 千円] **22,197 千円**

事業の実施主体である千葉県社会福祉協議会との緊密な連携のもと、貸付金を必要とする市民へ速やかに融資しました。また、借受世帯に対し訪問や面接を行い、世帯の自立を支援しました。

ア 貸付金の種別

資金の名称		申請件数 (件)	貸付件数 (件)	貸付金額
総合支援資金		12	8	2,380,489 円
福祉資金	福祉費	40	36	16,408,100 円
	緊急小口資金	96	92	8,257,200 円
教育支援資金		169	159	87,849,500 円
不動産担保型生活資金		1	1	13,557,600 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0	0	0 円
臨時特例つなぎ資金		1	1	50,000 円
合 計	H28	319	297	128,502,889 円
	H27	260	248	139,218,115 円

(平成 28 年度目標値 220 件)

イ 各区事務所貸付取扱状況 (件)

区分	総合 支援 資金	福祉資金		教育 支援 資金	不動産 担保型 生活資金	要保護 世帯向け 不動産担保 型生活資金	臨時特例 つなぎ 資金	合 計
		福祉費	緊急小口 資金					
中 央 区	1	0	20	16	0	0	0	37
花見川区	1	6	22	13	1	0	0	43
稲 毛 区	3	4	3	15	0	0	1	26
若 葉 区	0	12	25	30	0	0	0	67
緑 区	0	4	6	33	0	0	0	43
美 浜 区	3	10	16	52	0	0	0	81
合 計	H28	8	36	92	159	1	0	297
	H27	27	25	92	101	0	1	248

② 生活困窮者自立支援事業【重点事業】

【生活自立・仕事相談センター中央】（受託金）26,352 千円 [20,004 千円] 26,352 千円

生活困窮者の様々な状況とその問題点を把握・評価・分析し、自立に向けた効果的な支援が行われるように支援計画を策定し、支援を行いました。

区 分		H 28	H 27
自立相談支援事業	支援調整会議開催	12 回	12 回
	新規相談受付数	417 件	523 件
	支援計画策定件数	225 件	194 件

③ 緊急一時的な食糧支援事業【地域福祉推進課】

フードバンクちばと連携し、生活困窮者へ緊急一時的な支援を行いました。

< 食品配送申請受付件数 >

区分	中央区	花見川区	稲毛区	若葉区	緑区	美浜区	合計
H28	142 件	41 件	27 件	46 件	18 件	32 件	306 件
H27	79 件	64 件	29 件	36 件	10 件	15 件	233 件

10 福祉施設や団体との連携・支援

民間社会福祉施設や社会福祉団体に対し運営費等を助成し、社会福祉の増進を図りました。また、小地域福祉活動の活性化のため、施設や団体との連携の強化を図りました。

(1) 施設団体等助成【社会福祉課】

① 施設団体等助成事業 (共募) **2,550 千円** [2,417 千円] **2,514 千円**

民間社会福祉団体の適正な運営と民間社会福祉施設の事業が適切に実施されるよう、運営等に要する経費を助成しました。

区分	H28		H27		H28 目標値	
	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額	助成件数	助成金額
民間保育園	31 施設	1,223,878 円	28 施設	1,085,596 円	29 施設	1,160,000 円
社会福祉団体等	13 団体	1,290,000 円	13 団体	1,310,000 円	13 団体	1,330,000 円
合 計		2,513,878 円		2,395,596 円		2,490,000 円

② 福祉施設・団体の歳末行事等への助成事業 (共募) **637 千円** [677 千円] **968 千円**

福祉施設・団体の歳末行事等の開催に要する経費の一部を助成しました。

区分	H28		H27		H28 目標値	
	配分件数	配分金額	配分件数	配分金額	配分件数	配分金額
福祉施設	4 施設	62,500 円	4 施設	60,000 円	4 施設	113,000 円
福祉団体	6 団体	280,000 円	6 団体	295,000 円	7 団体	295,000 円
小規模作業所等	36 か所	283,000 円	30 か所	311,000 円	55 か所	548,000 円
合 計		625,500 円		666,000 円		956,000 円

(2) 社会福祉事業振興資金貸付【社会福祉課】

① 社会福祉事業振興資金貸付事業

(社会福祉事業振興資金) **19 千円** [161 千円] **16,355 千円**

民間社会福祉施設への貸付実績はありませんでした。制度の利用促進を図るため、今後事業見直しの検討を行います。

ア 貸付限度額 800 万円

イ 貸付利率 年利 3%

ウ 償還期間 200 万円までが 5 年以内、40 万円増す毎に 1 年を加えた期間

区分	H28	H27	H28 目標値
融資件数	- 施設	- 施設	2 施設
融資金額	- 円	- 円	1,600,000 円

(3) 各種団体・関係機関との連携・協働【地域福祉推進課】＜再掲＞

①各種団体・関係機関との連携・協働

あんしんケアセンター等と地域福祉の推進について連携・協働するとともに、区支え合いのまち推進協議会と協力し、区支え合いのまち推進計画の推進に努めました。また、千葉県ことぶき大学校福祉健康学科と連携し、地区部会が実施するサロン等活動への実習受入れの調整及び支援を行いました。

＜ことぶき大学校 実習受入実績＞

区分	地区部会数	受入人数
H28	31 地区	68 人
H27	26 地区	146 人

1 1 人材育成のための研修の充実

千葉市より平成 28 年度から平成 29 年度まで 2 年間の指定管理を受け、千葉市社会福祉研修センターの管理運営を行い、福祉を担う人材の育成と資質の向上を図るため、平成 28 年度からは研修体系を変更するとともに新しい研修も加え、社会福祉事業に従事する社会福祉施設職員、行政職員等を対象に幅広い研修を、計画的・体系的に実施するとともに、市民を対象とした社会福祉セミナーを実施し、その他、受託事業による研修を含め、延べ 4,571 人の方が研修を受講しました。

(1) 指定管理の研修・指定管理以外の研修【社会福祉研修センター】

(受託金) **55,430 千円** [52,667 千円] **57,526 千円**

研修区分		研修名	H28		H27		H28 目標値	
			課程数	受講者数	課程数	受講者数	課程数	受講者数
指定管理	管理運営部門研修	トップセミナー	1	194 人	1	58 人	1	30 人
		施設長・事務所長研修	1	15 人	1	29 人	1	30 人
		財務担当研修	2	19 人	1	12 人	2	60 人
		人事・労務担当研修	1	12 人	2	117 人	1	30 人
	専門職研修	看護職員研修	1	11 人	1	10 人	1	30 人
		栄養士等給食担当職員研修	1	14 人	1	16 人	1	30 人
		ケアマネジャー現任研修Ⅰ	1	30 人	1	50 人	1	40 人
		ケアマネジャー現任研修Ⅱ	1	75 人	1	74 人	1	40 人
		施設ケアマネジャー現任研修	1	21 人	—	—人	1	40 人
		サービス提供責任者現任研修	1	12 人	1	7 人	1	30 人
		訪問介護員現任研修Ⅰ	1	20 人	1	9 人	1	30 人
		訪問介護員現任研修Ⅱ	1	16 人	1	18 人	1	30 人
		訪問介護員フォローアップ研修	8	181 人	9	228 人	7	210 人
		行政職員研修	福祉担当新任職員研修	1	50 人	1	68 人	1
	生活保護関係職員新任地区担当員研修		1	54 人	1	50 人	1	40 人
	福祉担当職員研修		1	24 人	1	14 人	1	30 人
	生活保護関係職員地区担当員研修Ⅰ		1	29 人	1	37 人	1	35 人
	生活保護関係職員地区担当員研修Ⅱ		1	32 人	1	30 人	1	12 人
	生活保護関係職員生活保護査察指導員研修		1	17 人	1	9 人	1	30 人
	地域福祉従事者研修	主任児童委員研修	1	116 人	1	108 人	1	150 人
	専門課題研修	認知症対応スキル向上研修	2	62 人	1	9 人	2	60 人
		介護技術向上研修Ⅰ	3	78 人	2	65 人	3	90 人
		介護技術向上研修Ⅱ	3	90 人	1	42 人	3	90 人
		介護技術向上研修Ⅲ	2	24 人	2	106 人	2	60 人
		接遇マナー・インストラクション研修	3	54 人	3	77 人	3	90 人
		医学知識研修	2	53 人	—	—人	2	60 人
		薬学知識研修	1	44 人	—	—人	1	30 人
		障害知識研修	1	9 人	—	—人	1	30 人
		介護過程・介護記録研修	2	62 人	—	—人	2	60 人
		リスクマネジメント研修	1	37 人	—	—人	1	30 人
		救急法研修Ⅰ	2	41 人	2	40 人	2	40 人
		救急法研修Ⅱ	1	5 人	1	42 人	1	24 人
		相談援助技術研修	1	29 人	1	16 人	1	30 人
	キャリア創生研修	福祉職員キャリアパス対応生涯研修 新任職員研修	1	22 人	—	—人	1	30 人
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修 中堅職員研修	1	36 人	1	47 人	1	30 人
		福祉職員キャリアパス対応生涯研修 チームリーダー研修	1	34 人	1	24 人	1	30 人

		人材育成・O J T実践研修	4	51 人	—	一人	4	120 人
		介護指導者養成研修	1	12 人	1	17 人	1	20 人
	介護研究	介護指導者養成研修（研究編）	1	1 人	1	3 人	1	5 人
	市民向け研修	社会福祉セミナー	36	1, 849 人	36	1, 833 人	36	1, 915 人
	小 計		97	3, 535 人	81	3, 265 人	96	3, 801 人
	指定管理以外	認知症介護実践者研修	認知症介護実践者研修Ⅰ	1	51 人	1	48 人	1
認知症介護実践者研修Ⅱ			1	54 人	1	54 人	1	50 人
認知症介護実践者研修Ⅲ			1	44 人	1	54 人	1	50 人
認知症介護実践者研修Ⅳ			1	51 人	1	52 人	1	50 人
認知症介護実践リーダー研修			1	14 人	1	13 人	1	20 人
認知症介護基礎研修			4	179 人	—	一人	4	200 人
地域福祉従事者研修		民生委員・児童委員新任研修	1	409 人	—	一人	1	400 人
その他関係機関連携研修会等		8	234 人	4	135 人	—	一人	
小 計		18	1, 036 人	9	356 人	10	820 人	
合 計			115	4, 571 人	90	3, 621 人	106	4, 621 人

（２）社会福祉士養成課程相談援助実習の実習生の受入れ

社会福祉士養成課程における相談援助実習プログラムの充実を図り実習生を受入れ、各部署において社会福祉士として必要な知識及び援助技術を取得するための実習指導を行いました。また、社会福祉主事任用資格取得に係る社会福祉現場実習生の受け入れ、実習指導も行いました。

区分		H28	H27	H28目標値
実習生受入 人数	社会福祉士	9人	9人	9人
	社会福祉主事	2人	1人	0人

12 広報活動の充実

市民の視点、ニーズに応じた広報内容を充実させるとともに、情報を速やかに発信しました。

様々な年齢層の市民に対して、本会とその活動についての理解を図っていくために、マスコットキャラクター等を用いて、市内で開催されるイベントに参加するなど、PR活動を積極的に行いました。

(1) 社協のPR活動

① 社協だよりの発行 <再掲>

社協活動の広報紙として、社協だよりを年4回、各3万2千部発行し、各町内自治会での回覧や公共施設などに配架し、多くの市民へ情報を提供しました。

H28			H27	H28目標値
巻数	発行日	発行部数	発行回・部数	発行回・部数
第94号	平成28年 6月15日	各32,000部	年4回 各32,000部	年4回 各32,000部
第95号	平成28年 9月21日			
第96号	平成28年12月 7日			
第97号	平成29年 3月15日			

② ホームページの充実 <再掲>

ホームページで、本会や地区部会、各種ボランティア団体等の活動状況を掲載するとともに、地域で必要とする福祉情報を発信しました。

<アクセス数>

区分	H28	H27
本会トップページ	48,585 件	16,533 件
ボランティアセンター	20,295 件	13,238 件
成年後見支援センター	10,112 件	3,535 件
社会福祉研修センター	8,043 件	5,231 件
生活自立・仕事相談センター	2,819 件	

③ 各種イベントでのPR活動【地域福祉推進課】

(共募) 187 千円 [195 千円] 246 千円

区民まつりや、地区部会が主催するイベント等に積極的に参加し、市民に対し本会や地区部会活動への理解促進に努めました。

④ 出前講座の実施【総務課】

(共募) 88 千円 [126 千円] 167 千円

市民や団体等からの依頼により、本会の職員が地域に出向き、本会の活動内容などを説明し、理解促進に努めました。

1 3 体制の充実・強化

地域福祉活動を継続的に推進するため、市民及び施設・企業などに本会の活動や会員制度への理解を求め、会員の拡大に向けて積極的に働きかけるとともに、会員制度のあり方について検討し、必要に応じて見直しを行い、より一層の理解と協力を得られるよう努めました。

また、本会独自の事業展開のために、自主財源確保のための取組みを積極的に行い、財政基盤の強化を図るほか、「企画提案・調整型社協」として、地域特性に応じた適切なサービスが提供できるよう、本会の組織体制の充実と職員の資質向上のための取組みの推進に努めました。

(1) 会員の拡大【地域福祉推進課】

(会費) 833 千円 [804 千円] **917 千円**

① 住民会員の拡大

市民に本会の活動を理解してもらい、本会の会員として継続的に地域福祉に参加してもらえよう、地区部会を通して会員の拡大に努めました。

② 特別会員・賛助会員の拡大

千葉市老人福祉施設協議会、千葉市民間保育園協議会への訪問依頼や社会福祉施設・企業等への入会案内により、継続的に地域福祉に参加してもらえよう、特別会員・賛助会員の拡大に努めました。

③ 会員制度の見直し

会員制度について本会の会員制度の仕組みや意義を理解してもらえよう、本会の会員制度のあり方について検討を行いました。また、地域住民や町内自治会に対し会員募集のチラシの配布や会員制度の仕組みや意義の理解促進に努めました。

<会員の状況>

区分		住民会員 (1口200円)	特別会員 (1口3,000円)	賛助会員 (1口10,000円)	会費収納額
地区部会	中央区	43,955口	441口	78口	10,894,100円
	花見川区	34,135口	98口	85口	7,971,130円
	稲毛区	32,392口	127口	30口	7,161,514円
	若葉区	24,289口	29口	23口	5,174,846円
	緑区	22,911口	14口	5口	4,674,340円
	美浜区	27,390口	87口	21口	5,949,135円
地区民児協	花見川区	273口	7口	0口	75,700円
本会取扱分		0口	44口	42口	552,000円
合計	H28	185,345口	847口	284口	42,452,765円
	H27	187,290口	743口	258口	42,271,649円

(2) 自主財源の確保

① 収益事業の検討・実施【総務課】（物販収入等）**293 千円** [592 千円] **707 千円**

マスコットキャラクターを使用した4種類の商品を販売するなど自主財源の確保に努めました。

区分	H28	H27	H28 目標値
資料・図書等頒布	8 千円	10 千円	12 千円
手数料	203 千円	191 千円	190 千円
物品販売	82 千円	391 千円	505 千円

② 赤い羽根共同募金の増額【社会福祉課】

新たな寄付者の拡大を図るため、法人への訪問を強化するとともに、オリジナルクオカードの作成、寄付つきファイル募金等、新規の募金活動に取り組みました。

<募金の状況>

区分	H28	H27	H28 目標値
赤い羽根共同募金（10月～3月）	27,104,907 円	28,263,262 円	30,000,000 円
歳末たすけあい募金（12月）	10,780,770 円	11,274,278 円	—

③ 有料広告の利用促進【総務課】（広告料収入）**462 千円** [348 千円] **449 千円**

社協だよりやホームページに、広告掲載を希望する企業等を募集し、4件の広告掲載を獲得しました。

(3) 組織体制の充実・強化

① 区事務所の機能充実【地域福祉推進課】

地域の特性やニーズ等を踏まえ、各区事務所にCSWを配置し、地域福祉活動のコーディネートをよりきめ細かく活発に行いました。

また、成年後見支援センター、千葉市生活自立・仕事相談センター中央等との更なる連携を図り、課題解決を総合的に支援する体制の強化に努めました。

<サロン・見守り・支え合い活動立上げ実績>

区分	H28	H27
サロン活動立上げ実績	18 団体	22 団体
見守り活動立上げ実績	1 団体	2 団体
支え合い活動立上げ実績	0 団体	1 団体

区分	H28	H27	H28 目標値
CSW会議（個別支援ケース検討）	年 12 回	年 12 回	年 12 回

② 職員の資質向上【総務課】 (市補等) **844 千円** [229 千円] **1,464 千円**

職場内研修の実施や職場外研修への派遣とともに、資格取得を促進しました。

区分	H28	H27	H28 目標値
法令に基づく管理者等向け研修派遣	9 人	1 人	11 人
管理監督者向け研修派遣	1 人	16 人	8 人
係長向け研修派遣	0 人	1 人	8 人
社会福祉士資格取得	0 人	0 人	1 人
C S W 育成研修	3 人	8 人	6 人
千葉県派遣研修	2 人	2 人	2 人

14 災害への対応

(1) 災害復興支援事業【地域福祉推進課】

① 千葉市内の主要イベント等への招待

(共募) **286 千円** [174 千円] **483 千円**

区分	H28	H27	H28 目標値
実施日	平成 28 年 8 月 6 日 (土)	平成 27 年 11 月 8 日 (日)	-
イベント名	遊覧船からの幕張ビーチ フェスタ花火観覧	ジェフユナイテッド市原・ 千葉 J2 サッカー観戦ツアー	幕張ビー チ花火フ ェスタ
会 場	集合場所：ケーズハーバー	フクダ電子アリーナ	-
参加者数	避難者 42 人 お茶っこスタッフ 5 人 本会職員 3 人 計 50 人	66 人	50 人

② 東日本大震災被災者東北復興イベント等への出展協力

(共募) **8 千円** [174 千円] **8 千円**

区分	H28	H27	H28 目標値
実施日	平成 28 年 12 月 17 日 (土)	平成 27 年 11 月 28 日 (土)	-
イベント名	縁 joy・東北 2016	縁 joy・東北 2015	縁 joy・ 東北 2016
会 場	きぼーる 1 階 アトリウム	きぼーる 1 階 アトリウム	-
出展内容	プラ板 キーホルダー作り	プラ板 キーホルダー作り	プラ板 キーホルダー作り
参加者数	約 510 人 (一般来場者含む)	約 550 人 (一般来場者含む)	500 人

③ 地域交流会等の開催

(共募) **6 千円** [27 千円] **39 千円**

区分	H28	H27	H28 目標値
実施日	中 止 (参加希望者がいなかったため)	平成 28 年 3 月 28 日 (土)	-
会 場		都賀コミュニティセンター	-
内 容		太巻き寿司を作ろう	交流会
参加者数		32 人	30 人

(2) 熊本県（熊本市及び益城町）への支援活動【総務課】

（受託金）617 千円 [747 千円] 一千円

4 月 14 日に発生した熊本地震災害により、多数の人的・物的被害が発生しました。

「関東甲信越静ブロック都県指定都市社会福祉協議会災害時の相互支援に関する協定」に基づき、熊本市における特例貸付の受付業務の支援や、震度 7 が 2 度襲う観測史上例のない災害に見舞われ、町内の住宅計 1 万 312 棟のうち 9 割以上の 1 万 155 棟が被害があった益城町の社会福祉協議会へ職員を派遣し、被災世帯の状況調査やボランティアの受入れ、送り出しなど益城町災害ボランティアセンター運営に携わりました。

① 派遣期間：平成 28 年 5 月 15 日～8 月 23 日

② 派遣人数：延べ 5 人

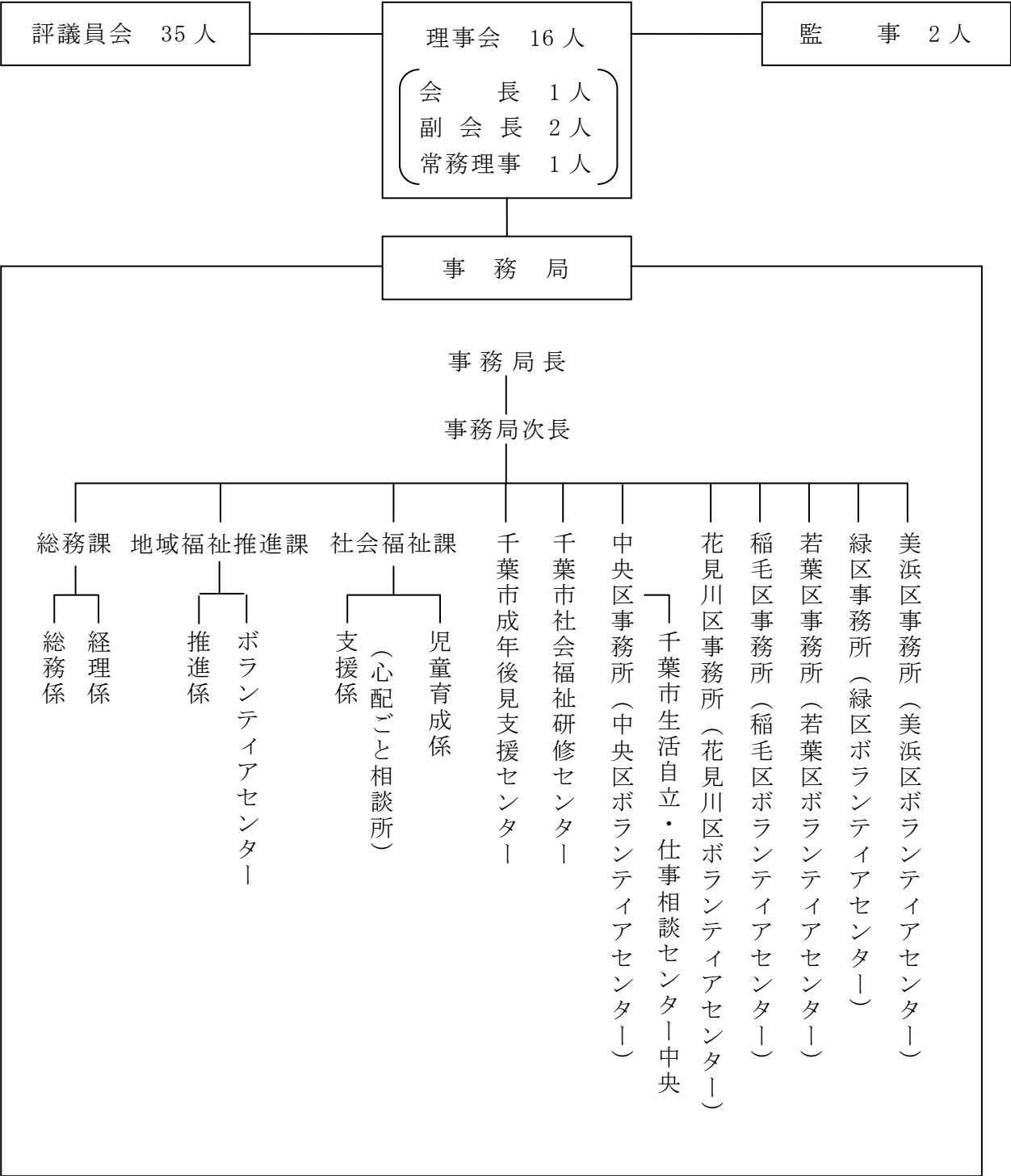
(3) 義援金、寄附金の受付等【社会福祉課】

東日本大震災義援金、熊本地震災害及び新潟県糸魚川大規模火災義援金の受付を行い、日本赤十字社へ送金しました。

関連資料

【組織図】

平成 29 年 3 月 31 日現在





社会福祉
法人

千葉県社会福祉協議会

〒260-0844 千葉県中央区千葉寺町1208-2

千葉県ハーモニープラザC棟3階

電 話 043 (209) 8884

FAX 043 (312) 2442